

# トーサムポロ沼周辺竪穴群の発掘

## 学芸員日誌

No.341

根室市歴史と自然の資料館  
学芸員 猪熊樹人  
TEL 25-3661番

一 昨年から、豊里のトーサムポロ沼に架かっている「協力橋」の両端で、道々35号線の道路改良工事に伴う発掘調査が(財)北海道埋蔵文化財センターによって行われています。

土木工事等で遺跡に影響がある場合は、原則として発掘調査が行われます。発掘調査は、土器や石器などの遺物の出土状況や住居跡などの遺構について、図面や写真をとって記録するほか、遺物の科学的な分析などを加えたデータを報告書としてまとめ、開発で消滅した遺跡と引き換えに、後世に記録保存することになっています。

トーサムポロ沼の周辺は遺跡の宝庫で、湖岸全体が遺跡になっています。トーサムポロ沼の遺跡研究は、1940年に根室市在住の考古学者である北構保男先生によって開始されました。1960年代には、東京教育大学(現在の筑波大学)によって遺跡の規模や広がりが見明らかになり、縄文時代からアイヌ文化期にわたって湖が利用されてきたことが確認されました。1970年代には、日本と旧ソビエト連邦の共同による考古学調査が、トーサムポロ沼の遺跡で実現しています。冷戦という世界情勢



トーサムポロ沼周辺竪穴群を見学した説明会

の中での学術調査は、大変画期的な出来事で、北方考古学史上でも有名な遺跡になっています。

ここ数年の調査では、縄文時代早期(約7~8,000年前)、縄文時代前期(約5~6,000年前)、オホーツク文化期(約1,000年前)、近世アイヌ文化期(約200年前)の集落跡が検出され、トーサムポロ沼が太古の昔から現代まで利用されてきていることに、改めて驚かされました。特に、縄文時代早期とアイヌ文化期の集落跡は、市内では出土事例が無かったため、当時の土地利用や生活文化を考えるうえで、今後の調査や出土した資料の分析に期待が寄せられています。



## 今月の一枚 師走の街角

ポインセチア、シクラメン。足早に通り過ぎようとした花屋の店先に、ひととき足を止めて。

### 根室市の人口

平成24年12月1日現在( )前年同月比

人口 **29,185**人 (-424)

男 **14,019**人 (-230)

女 **15,166**人 (-194)

世帯数 **12,971**世帯(-115)

広報ねむろ 2012 1月号 No.861

発行 根室市役所総務課

印刷 根室印刷株式会社

編集後記  
ねむろ アンガル

■根室に来て、初めてのお正月を迎えました。また気持ちを新たに今年一年、いろいろな話題を皆さんに提供していきたいように頑張っていきたいと思っております。今年も私のカメラの腕前も千支の「辰」のように、上り調子の年にならなうと思っております。(H)

### 季節性インフルエンザの感染予防を

季節性インフルエンザは、例年12月から3月ごろにかけて流行します。

感染予防のため、外出時には手洗い・うがい、十分な休息と栄養をとり免疫力を高め、感染しにくい体づくりを心がけましょう。

問合せ 根室市役所保健課健康推進担当  
TEL(23)6111 番内線 2117



間伐で未来につなぐ北の森

この広報紙は、道内産の間伐材で作られた紙を使用しています